

製品安全データシート

作成日 2003 年 12 月 5 日

改訂日 2023 年 4 月 26 日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 酢酸 n-プロピル

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市北区西天満 3 丁目 10-3

電話番号 06-6809-5970

FAX 番号 06-6809-5975

推奨用途と使用上の制限 溶剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253 : 2019 使用

物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（吸入） 区分 4 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2A 2B

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性、麻酔作用）

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性 引火性の高い液体および蒸気。

吸入すると有害。

強い目刺激。

呼吸器への刺激のおそれ。

水生生物に有害。

注意書き

【安全対策】

熱、高温のもの、火花、裸火、他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること。アースをとること。
防爆型の電気機器、換気装置及び照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手などを洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合 水で数分間、注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚（又は毛髪）に付着した場合 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
ばく露又はその懸念がある場合 医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 酢酸 n - プロピル (n-Propyl acetate)

別名 1 - アセトキシプロパン (1-Acetoxypropane)

酢酸 1 - プロピル (1-Propyl acetate)

酢酸、n - プロピルエステル (Acetic acid, n-propyl ester)

化学式 $\text{CH}_3\text{COO}(\text{CH}_2)_2\text{CH}_3$

CAS 番号 109-60-4

官報公示整理番号

化審法 (2)-727

安衛法 公表化学物質

濃度または濃度の範囲 $\geq 99.5\%$

4. 応急措置

吸入した場合 新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

皮膚に付着した場合 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。

皮膚を速やかに洗浄すること。

脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。

目に入った場合 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

洗浄を続けること。

水で数分間、注意深く洗うこと。

目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

口をすすぐこと。

吐かせる。ただし、嘔吐物が気管に入らないように身体を斜めにする。

予想される急性症状及び遅発性症状 蒸気の吸入により咳、咽頭痛。ばく露により、

眼の発赤、皮膚の乾燥。

最も重要な兆候及び症状

応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な保護具（有機溶剤用の防毒マスク等）を着用する。

医師に対する特別注意事項 情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末、泡、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 棒状注水

特有の危険有害性 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

特別個人用保護具(自給式呼吸器)を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる容器に回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

二次災害の防止策 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

熱、火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。

静電気対策を行う。

設備などは防爆型を用いる。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 できれば、密閉系で取扱う。

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件 容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。

施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 蒸気の発散源を密閉する設備、局所排気装置またはプッシュブル型換気装置を設ける。(有機溶剤中毒予防規則)

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度 200 ppm

許容濃度 ACGIH TLV(TWA) 100 ppm

ACGIH TLV(STEL) 150 ppm

OSHA PEL(TWA) 200 ppm

日本産業衛生学会(TWA) 200 ppm

保護具

呼吸用保護具 防毒マスク(有機ガス用)、送気マスク等。

手の保護具 不浸透性の手袋。

眼、顔面の保護具 保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体

形状 透明

色 無色 ~ ほとんど無色

臭い 軽い果香

融点/凝固点 -96°C

沸点又は初留点及び沸騰範囲 101°C

可燃性 情報なし

引火点 12°C

自然発火点 430°C

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 下限：2% 上限：8%

pH 情報なし

動粘性率 情報なし

蒸気圧： $3.3\text{kPa}/20^{\circ}\text{C}$

溶解度 [水] 微溶 ($1.6\text{g}/100\text{mL}$, 16°C)

[その他の溶剤] 混和： エーテル, アルコール

オクタノール/水分配係数 1.23

密度及び/又は 相対密度(g/ml) 0.89

相対ガス密度 3.5

粒子特性 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件 火花, 裸火, 静電放電

混触危険物質 酸化剤, 酸, 塩基, 硝酸類

危険有害な分解生成物 二酸化炭素, 一酸化炭素

1 1. 有害性情報

急性毒性 orl-rat LD50 : 9370 mg/kg

skn-rbt LD50 : >20 mL/kg

ihl-rat LCLo : 8,000 ppm/4H

皮膚腐食性/刺激性 skn-rbt 500 mg open MLD

眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性 eye-rbt 500 mg/24H MLD

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性 -単回ばく露

ヒトに対して気道刺激性及び中枢抑制があるとの記載 (Patty's Industrial Hygiene and Toxicology (5th, 2001))、及び中枢神経系及び肝臓に影響を及ぼすおそれがあるとの記載 (既存化学物質安全性点検データ) がある。

一方、深い麻酔状態を呈した動物は迅速に回復したとの記載 (HSFS (2001)) がある。

特定標的臓器毒性 -反復ばく露 情報なし

誤えん有害性 情報なし

RTECS 番号 : AJ367

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 60mg/L/96H (HSDB (2005))

水生環境有害性 長期 (慢性)

急速分解性があり (BOD による分解度 : 81% (PHYSROP Database))、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow = 1.24 (IUCLID (2000)))。

1 3. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

引火性が高いため十分注意する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する

1 4. 輸送上の注意

国連番号 1276

品名(国連輸送名) n-Propyl acetate

国連分類 クラス3(引火性液体)

容器等級 II

輸送の特定の安全対策及び条件 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 航空法の規定に従う。

特別の安全対策 消防法の規定に従う。

1 5. 適用法令

消防法 第4類 第一石油類 危険等級II 非水溶性

安衛法(有機則) 第二種有機溶剤等

安衛法(第57条) 名称等を表示すべき有害物

安衛法(第57条の2) 名称等を通知すべき有害物

安衛法(施行令別表第一) 危険物 四 引火性のもの

船舶安全法 危規則危険物告示 別表第1 引火性液体

1 6. その他の情報

参考文献 本文中に記載した。